

庁議事案書

日 付	令和7年1月7日（火）	会議種別	政策会議
事案名称	第3次ちがさき自転車プラン(自転車活用推進計画)の策定について		

1. 事案の概要

提案理由 取り組み内容	【背景・計画の概要】 本市では、任意計画として平成16年に「ちがさき自転車プラン」、平成26年に「第2次ちがさき自転車プラン」を策定し、自転車利用ルールの周知徹底、安全・安心な走行空間の整備などを行うことで、人と環境にやさしく、人・自転車を優先したまちづくりを進めてきました。 また、社会変化として、平成29年には自転車の活用を総合的かつ計画的に推進することを目的に「自転車活用推進法」が施行され、市町村での自転車活用推進計画の策定が努力義務となりました。さらに、道路交通法の改正やナショナルサイクルルート制度の創設等により、事故のないの安全・安心な社会の実現に加え、自転車交通による都市環境の形成や観光資源への転換、健康長寿社会の実現と自転車を取り巻く環境が大きく変化しました。 このような状況を踏まえ、本プランを策定し、市民・市民団体、事業者、市が協働・連携しながら市民に親しまれている自転車のさらなる活用を推進します。なお、計画期間は、令和7年度から10年間とします。 【策定のポイント】 ①法に基づく行政計画として位置付け(任意計画から自転車活用推進法に基づく市町村自転車活用推進計画に) ②新たな「目指すまちの姿」を設定(自転車健康都市～いつまでも自転車に乗って楽しみ続けられるまち 茅ヶ崎～) ③前プランで取り組んできた「おもいやりの人づくり」「風を感じる空間づくり」の考え方は継続 ④利用促進に関する方向性の細分化(「日常での利用促進」「楽しむための機会創出」の2つの内容を設定) ⑤国・県計画の内容を勘案した計画(新たに災害時における活用やサイクルツーリズムの項目を追加) 【今後のスケジュール】 全員協議会(1月23日)→パブリックコメント(1月30日～2月28日)→計画の改定及び公表(3月)
審議事案等	第3次ちがさき自転車プラン(自転車活用推進計画)の策定について

2. 行政計画等との関係

(1)茅ヶ崎市総合計画					
主たる政策目標	7.利便性が高く、魅力的な都市空間が整うまち				
関連する政策目標	政策目標 2	政策目標 3	政策目標 4	政策目標 5	政策目標 6
(2)その他関連計画	ちがさき都市マスタープラン、茅ヶ崎市地域公共交通計画				
(3)関係法令	自転車活用推進法				

事案担当	都市部都市政策課	内線	2332
関係部課			

政策会議結果報告書

1 開催日	令和7年1月7日（火）
2 件名	第3次ちがさき自転車プラン(自転車活用推進計画)の策定について
3 事案担当	都市部都市政策課
4 関係部課	
5 出席者	☒ 市長 ☒ 副市長 ☒ 副市長 ☒ 教育長 ☒ 病院事業管理者 ☒ 出席 ☐ 欠席
6 説明者	都市部長 都市政策課長 課長補佐交通計画担当
7 会議結果	本案件については、提案のとおり承認される。
8 主な意見等	* どのようなデータをもって、自転車利用の減少傾向を捉えたのか。【塩崎副市長】 → 令和5年10月に実施した「自転車利用に関するアンケート調査」において、市内での日常的な移動で最も利用回数が多い交通手段として、「自転車」を選択した方の割合が減少傾向になっています。 * 自転車を利用している人数は、増えていないのか。【塩崎副市長】 → 自転車の利用目的を聞いたアンケートで、「買い物」と回答した方が減少していることから、自動車での買い物などの増加なども要因と考えています。 * 自転車を利用する方の割合を高めた方がよいのか。【塩崎副市長】 → 過度な自動車利用からの転換を図る上でも、自転車を利用する方の割合を高めていく必要があると考えています。 * 自動車利用からの転換が、鉄道駅周辺の交通環境の改善にもつながる理解でよいのか。【塩崎副市長】 → そのような点にも寄与すると考えています。 * コロナ禍後、官民間問わず鉄道駅周辺の自転車駐車場等の利用はどのような状況か。【岸副市長】 → 市営の自転車駐車場等は、コロナ禍前の利用状況に戻りつつあります。 * 今後、鉄道駅周辺にある自転車駐車場等で台数確保できない場合、その周辺にも整備していく必要があると考えているのか。【岸副市長】 → 需要を調査した上で、必要があれば検討していくことになります。

＊ 交差点の事故が多いが、自転車のルールが複雑であるが故に、守れていない人が多いように感じる。自転車を安全・安心して利用していただくためには、複雑なルールを市民に理解していただくための取組が求められる。【教育長】

→ 子どもから高齢者まで、すき間のない安全教育を進めていく必要があると考えています。動画の作成・配信等を通じて、周知啓発してまいります。

＊ 最新のルールが身についておらず、古いルールのもとで自転車利用している方も多く感じる。最新のルールを理解していただくための取組も合わせて進めていく必要がある。【教育長】

→ そのように進めてまいります。

＊ 自転車利用のルールやマナーが守られるよう、本プランに掲げる取組を着実に進めてほしい。【病院事業管理者】

→ 承知しました。

＊ 資料1（本編）46ページの「シティサイクル（ママチャリ）」とあるが、「ママチャリ」という文言が正しいか。シティサイクルは、自転車のカテゴリーとしては「軽快車」という言い方もある。【教育長】

→ 「軽快車」は一般的に馴染みがない文言のため、わかりやすい表現として、いわゆる「ママチャリ」の文言を用いていますが、改めて表現を確認します。

＊ 数値目標を定めていないが、審議会等ではどのような意見があったか。【病院事業管理者】

→ 審議会では、数値目標ではなく、定性的に評価した方がよいとのご意見をいただいています。
評価にあたっては、アンケートを通じて、「目指すまちの姿」に近付いているかを確認していきます。